



久慈市立長内中学校でのLGBT出前講座の様子。

【相談室のご案内】

■一般相談

家族のことや職場の人間関係、仕事、配偶者や交際相手のことなど、悩んでいることや困っていることを面接・電話により相談できます。年齢性別は問いません。お気軽にご相談ください。

電話：019-606-1762

時間：月・水・木・土・日 9:00~16:00、火・金 13:00~20:00

※電話相談のみ受け付けている曜日・時間帯もありますので、お電話で確認ください。

■LGBT相談

性指向や性別の違和感などで悩んでいる方の相談を受け付けています。

電話：019-601-6891

曜日・時間：火曜日・金曜日16:00~20:00

※ほかにも、男性相談や法律相談、女性のための就労支援相談などを行っています。



誰もが、自分らしく。
一人ひとりが幸せになれる社会へ

岩手県男女共同参画センターでは、性別に関わらず、みんなが違いを認め合い、誰もが幸せに生きられる社会を実現するための取り組みを支援しています。具体的には、男女共同参画に関する意識啓発を行ったり、知識を学んでリーダーとして活動するサポーターを養成する講座や学校・企業での出前講座を開催したり、一般相談やLGBT*相談をはじめとしたさまざまな相談への対応など、「情報」「学習」「相談」「交流」の場を提供しています。

今の社会には、男女間の差別や暴力に苦しむ人たち、性指向や性別の違和感など、性別に関わることで悩んだり、生きにくさを感じている人がたくさんいます。もし悩んでいたら、センターに相談してみませんか。また、イベントに参加して理解を深めてみませんか。共に考え、学び合いながら、もっと生きやすく幸せな社会をつくっていきましょう。

*LGBT:レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、それぞれの英語の頭文字から取った言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)の総称の一つです。

若者の活躍支援

視野を広げ、仲間をつくる場を提供し、
一歩踏み出そうとする若者を後押し

県では、若者の活動・交流スペースとして、盛岡市の岩手県公会堂地下に「いわて若者カフェ」を開設しています。カフェには大小のイベントスペース、交流スペース、情報発信スペースがあり、無料で利用できます。また、カフェでは定期的にさまざまなイベントを開催しています。岩手で活躍するゲストと語り合う「カフェマスターと若者とのミーティング」や、県内外で先進的に活動するゲストを迎えてのワークショップなどを行う「カフェミーティング」、ニコニコ生放送を活用したインターネット番組「わいわいトーク」の配信などを行っています。

カフェに常駐するサポートスタッフの丹野晋太郎さんは「学びや仲間づくりの機会を提供し、若者が自分の進路を見つめたり、未来につながる何かを得ていただけたらうれしいです」と話します。カフェには無料Wi-Fiを完備していて、個人での利用も可能です。若者が新たな行動を起こすきっかけづくりの場となるよう解放していますので、お気軽にお立ち寄りください。



(写真上) 定期的にゲストを迎えて話を聞く、「カフェマスターと若者とのミーティング」の様子。

(写真左) サポートスタッフの丹野晋太郎さん。

特集1 誰もが活躍できる社会へ



一人ひとりが
いわての主演です!

私たちは一人で生きていくことはできません。家族はもちろん、友人や周囲の人々と関わり合い、助け合いながら生きています。お互いを認め合うことで初めて信頼関係を築くことができますが、「自分と違う」「普通と違う」という価値観で、拒絶したり、遠ざけていることはないでしょうか。

一人ひとり個性が違うように、障がいも人種も性も年齢も一つの個性です。お互いの違いを価値として認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会をつくることは、一人ひとりの幸福を実現することにつながります。そのためには、皆さんにさまざまな活動に主体的に参画してもらうことが必要です。

この特集では、女性や若者、障がいのある方、高齢の方々など、誰もが個々の才能や個性を生かし、生き生きと活躍できるように環境づくりをサポートする取り組みを紹介いたします。お互いを認め合い、それぞれの幸せを考えながら、自分が活躍できる場を見つけて活動してみませんか。

女性が働きやすい職場づくりを応援、
100以上の企業が「認定」されています

県では、女性が活躍しやすい職場づくりに取り組む企業や団体を「いわて女性活躍認定企業等」として認定し、先進的な取り組みを紹介しています。平成31年4月に認定された盛岡市の株式会社ベアレン醸造所は、働き方改革を進める中で女性が働きやすい環境を整えています。

「工場の機械化を進めたり、仕事と子育ての両立を支援するなど、職場環境と制度の両面で取り組みを行っています。女性だけでなく、誰にとっても働きやすい職場づくりが目標」と、専務の嶋田(しまだ)洋一さん。総務チームリーダーとして、働き方改革を推進する菅原聡子さんは「スタッフ自らが職場を改善する意識を持つことが大事」と話し、社内報などを通して社員への意識啓発を行なっています。



株式会社ベアレン醸造所の専務・嶋田洋一さん(右)と総務チームリーダー・菅原聡子さん(左)。

高齢の方の社会貢献活動支援

高齢の方の活動をバックアップ、
仲間と一緒に挑戦してもっと元気に!

健康を維持するために、ご近所仲間で立ち上げた一関市の「藤沢スポーツウェルネス吹矢愛好会」。胸式呼吸と腹式呼吸の両方を使う吹矢は、健康にもいいと好評で、16人の会員が競技を楽しんでいます。

「誰でも気軽にできますし、週に一度集まってワイワイ話すのが楽しみ」と話すのは、メンバーの畠山敏朗さん。地区内の競技交流会も多く、練習に励んでいます。

このような活動を支援しているのが、岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター。活動に関する相談や活動助成金に関する助言や支援などを行なっています。高齢の方も地域の大切な担い手。活躍できる場所や機会をどんどん広げて、積極的に挑戦しましょう。



「藤沢スポーツウェルネス吹矢愛好会」の皆さん。後列右端が畠山敏朗さん。

皆さんもいわてを創る
参画者です。一緒にできる
ことから始めてみませんか

「参画」とは、「取り組みや活動に計画段階から積極的に関わること」です。

「いわて県民計画(2019～2028)」では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に掲げています。目標を実現するため、若者・女性の皆さんには、発想と意欲を生かして、高齢者の皆さんには、経験や知識・技能を生かして、障がい者の皆さんには、経験や知識・得意分野を生かして、さまざまな取り組みや活動に、どんどん「参画」してもらうことが必要です。

県では、みなさんの参画を確かなものとするため、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、生活や仕事、学びのそれぞれにおいて活躍できる社会をつくる取り組みを進めています。誰もがいわての主役として参画し、お互いに幸福を守り育てていきましょう。

生産現場と障がいのある方々をつないで
両者の課題を解決し価値を生み出す

働き手を求めている農林水産業と、仕事と社会参加の場を求めている障がいのある方々をつなぎ、両者の課題を解決する「農福連携」。この取り組みを広げていくため、県ではマッチングの支援をはじめ、関係者向けの研修会や説明会、農福連携によって生産された農作物や加工品の販売などをサポートしています。

今年度から「連携」を始めたのは、株式会社耕野(花巻市)と北上アビリティセンター。耕野では料理に添えるリーフ栽培を行っており、その収穫作業や苗の入れ替え作業などを障がいのある方々が担っています。

「栽培施設を拡大するためお願いしたのですが、よく働いてくれて助かっています。地域貢献という面でも連携には大きな意味があります」と話すのは、耕野の代表取締役・安藤誠二さん。一方、北上アビリティセンターの所長・佐々木進さんは、「施設とは違う場所や人と働くのは利用者にとっても喜びであり、新しい仕事が身に付いてステップアップにつながります」と話します。これまで

接点がなかった両者が共に働くことで、仕事だけでなく、障がいに対する理解を深めることにもつながっています。



苗の入れ替え作業を行う北上アビリティセンターの利用者。



株式会社耕野の代表取締役・安藤誠二さん。



北上アビリティセンターの所長・佐々木進さん。



農福連携で生産された商品を表す「岩手県農福連携応援マーク」。

いわてアール・ブリュット巡回展

「アール・ブリュット」とは、美術的な教育を受けたり、技法や流行を追うのではなく、自らの内面から湧き上がった感情を思いのままに表現した作品のことです。近年では、知的障がいを持つ方々が作り出す作品が「アール・ブリュット」の一つの作品群として注目を集めていて、岩手でも

多くの作家たちが、日々、作品を生み出しています。12月以降は、奥州市と大船渡市で開催します。ぜひ、ご覧ください。

- 奥州市
水沢メイプル(4階 産業文化ホール)
令和元年12月4日(水)～24日(火)
10:00～16:00
- 大船渡市
サン・リア(1階 いこいの広場)
令和2年1月7日(火)～19日(日)
10:00～16:00



「人」 昆弘史



「無題」 工藤みどり



「火になることすら一瞬の動悸」 及川瑞樹